

深谷市 農委だより

2018年9月

No.26



キウイフルーツ



深谷市イメージキャラクター
ふっかちゃん



ゴマ



オクラ



カボチャ



サトイモ



編集
発行

深谷市農業委員会

事務局 〒369-0292 岡2381-1 ☎571-1211(代表)、577-3439(直通)・FAX 585-3520

新農業委員会体制決まる

任期満了に伴う深谷市農業委員の改選が行われ、平成30年7月20日より農業委員24名、農地利用最適化推進委員16名で新体制がスタートしました。

また、7月20日に開催された農業委員会臨時総会において、会長に安藤已喜夫委員、会長職務代理に福島明委員が選出されました。

農業委員は総会に出席し、主に農地利用について議案を審議します。農地利用最適化推進委員は農業委員と連携して、農地利用の最適化のための現場活動を行います。農地の諸問題や、農業経営に関することなど、お気軽に地元の農業委員又は、農地利用最適化推進委員にご相談ください。

〈敬称略・議席番号順〉



竹内 章公
(曲田)



会長
安藤已喜夫
(本田)



飯野 健彦
(大谷)



柴崎 安雄
(人見)



吉田 光雄
(高畑)

農
業
委
員



新井 眞一
(西田)



塚越 石夫
(大谷)



塚原 勝美
(大塚)



久保 行弘
(伊勢方)



野邊美佐子
(永田)



岡 潔
(岡)



長谷川美智子
(山河)



森 秀樹
(戸森)



木村 英昭
(明戸)



職務代理
福島 明
(原郷)



栗田 裕可
(横瀬)



丸山佐知子
(普濟寺)



瀬山 郁三
(川本明戸)



茂木 忠男
(武蔵野)



森谷 敬治
(櫛引)



新井美津子
(山崎)



持田 實
(荒川)



設樂弥栄子
(谷之)



蛭川 登
(藤沢)



大澤 敏道
(藤沢)



橋本 登
(深谷・大寄)



井田 貢
(深谷・大寄)

農地
利用
最適
化
推
進
委
員



川田 敏光
(成塚)



秋山 務
(岡部)



塚原 昇
(豊里・八基)



澁澤 隆之
(豊里・八基)



橋本 繁穂
(幡羅・明戸)



須藤 和彦
(幡羅・明戸)



柳 一男
(藤沢)



柴崎 立志
(花園)



石塚 保
(花園)



大澤 慶三
(川本)



飯野 篤己
(川本)



根岸 邦次
(岡部)



尾熊 博章
(岡部)

新会長就任あいさつ

会長 安藤 己喜夫
あんどう みきお

初秋の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。このたび、平成30年7月19日の農業委員の任期満了に伴い、7月20日の臨時総会において、ご推挙を賜り、引き続き会長に就任いたしました。身が引き締まる思いと共に、その職務の重大さ、責任の大きさを痛感しているところでございます。さて、当市農業委員会は、農業委員等に関する法律が改正され、新たな選出方法により、24名の農業委員が市長から任命されました。また、新たに16名の農地利用最適化推進委員を農業委員会から委嘱し、新体制のもと3年間の任期をスタートさせました。

当市における農業の現状は、農家人口の減少、従事者の高齢化、後継者不足、遊休農地の対策等、様々な課題を抱えております。

今後、これらの課題に対し、農業委員と推進委員の相互が的確に機能、連携し、農地の有効利用を図り、担い手の育成・支援等努めて参りたいと思っております。

皆様方の一層のご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

**平成31年度 荒廃農地等
利活用促進交付金のご案内**

荒廃農地等を引き受けて営農を再開するために再生作業等を支援します。

【対象者】

● 認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織等の担い手

※ただし、当該農地の所有者及び同一世帯員は対象外

【対象農地】

● 農業振興地域内農用地区域内の1号遊休農地

【交付率】

● 10a当たり5万円または二分の一以内のうちいずれか低い方

● 重機を用いて再生作業を実施する場合は二分の一以内

● 総事業費が200万円/件未満

【その他実施要件】

● 再生された農地において利用権等を設定し5年間以上耕作されること。

【受付期限】

平成30年9月28日（金）まで

※詳しくは農業振興課までお問い合わせください。なお、予算を超える要望があった場合は、限度額を下回る交付となる場合があります。

問い合わせ 農業振興課・農業用地係

☎57713298

砂ぼこり対策のご協力について

2月から4月は強風により農地からの砂ぼこりが発生しやすい時期です。風により優良土壌が飛散し、風下の地域へ悪影響を及ぼします。次のような対策で優良土壌の飛散を抑えることができます。

- 中低木・防風ネット、竜のひげの植栽
- 耕運作業を付け間近まで控える
- 畑かん等で散水し農地の湿潤化を図る
- 緑肥作物（エン麦、ライ麦）の播種

※市では防風ネットの設置補助を行っています。ご協力頂ける方は農業振興課までお問い合わせください。尚、農地の場所等により設置できない場合があります。



強風による砂ぼこりの様子



農地に設置された防風ネット

問い合わせ

農業振興課・整備係

(深谷市砂ぼこり対策協議会)

☎57713298

農業者年金に加入しましょう

農業者が、老後の生活を豊かなものにするためには、国民年金だけでは十分とはいえません。

農業者年金は、国民年金（基礎年金）に上乗せした公的年金です。

次の「3つの要件」を満たせば、誰でも加入することができます。脱退も自由にできます。

- ① 国民年金第1号被保険者（ただし、保険料納付免除者でないこと）
- ② 年間60日以上農業に従事するかた
- ③ 20歳以上60歳未満のかた

問い合わせ 農業委員会事務局（☎57713439）または最寄りの農協へ

**農地改良する際は：
農地に土を入れる際は：
事前に!!許可・届出を!!**

農地の生産性を向上させるため、農地の高上げなどを行う際は、事前に工事期間・面積によって、農地法の許可若しくは届出が必要となります。

○届出が必要な場合

期間…1か月未満
面積…1,000㎡未満

○許可が必要な場合

届出の期間・面積を超える場合については、一時許可申請が必要となります。

全国的に農地改良と称した産業廃棄物、建設発生土の不法投棄が問題になっていきます。農地改良を行う際は、内容に応じた適正な手続きをして下さい。

シリーズ新規就農

「農業の発展を目指して」

榎引 安倍 雄司さん (43才)

このコーナーでは、深谷市の明日の農業を担う新規就農者を紹介しています。

シリーズ第22回は、深谷藤沢地区の榎引で平成30年4月から就農された、安倍雄司さんにお話を伺いました。

Q これまでの経歴や、農業を始めたきっかけは何ですか？

A 福祉関係の仕事をしていましたが、体調を崩し、離職を余儀なくされました。職業訓練や就職活動を行う中で、自宅前の畑を見て就農したいと真剣に考えるようになってきました。

就農するにあたり、収入の減少や、経験不足により失敗することが心配され、家族からは強い反対がありました。深谷市の農業法人にて1年間の研修を行い、作付けの指導・ご協力を賜る中で、漸く家族より理解を得ることができました。

そこで、義理の父が所有している、自宅前の畑を借受け、農業に就きました。

Q 農業を始めて感じたことや、大変なことはありますか？

A 春キャベツを作付けの一つとして参りましたが、防虫に失敗しました。

研修先で経験した作物であっても、土地や気候の変化でうまくいかないことがあります。しかし、手間をかけた分、結

果となって作物が実ることには一番の喜びを感じます。

また、日本の気候も以前と変わりつつある中で、計画通りにいかない時にどう工夫して対応していくか、固定観念にとらわれず、先読みすることの大切さを感じております。なにより耕作地が、自宅の前にあるため子どもを含めた家族が身近にすることが、より励みになります。

Q 休みの日は、何をしていますか？

A これまでは、ほぼ休みなく仕事をしていましたが、現在は必ず週1日は休日を取り、家族と過ごす時間を大切にしています。

Q 将来の夢は何ですか？

A 深谷と言えどネギの産地で、種類も多種に及ぶので、ねぎの生産により力を入れていきたいと思っています。

また、高齢化が進み、就農者も減る傾向にあることから、現在の耕作地のみで満足せず、誰でも扱い易い機械を導入するなど、男女が共同で参加し就農できる環境を整え、耕作地を拡大、法人化を視野にいれ、深谷市の農業に貢献したいと考えております。



編集後記

今年の夏は、熊谷で41・1℃と観測史上最高気温を記録し、熱中症で病院にかられた方も多かったです。

さて、任期満了に伴い、新たな農業委員会の体制がスタートしました。

今号は、新体制の農業委員・農地利用最適化推進委員の紹介をさせていただきました。地域の皆様には農業委員会活動に対するご支援ご協力をお願いいたします。

編集委員も新しくなり、新たな気持ちで農委だよりを発行していきます。引き続き、皆さんに親んでもらえる「農委だより」を目指していきますので、よろしくお願いたします。

農委だより編集委員会

委員長 橋本 繁穂

委員 橋本 登

塚原 昇

大澤 慶三

柳 一男

秋山 務

石塚 保

全国農業
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS
新聞
週刊
金曜日発行
月700円、年8,200円
お申し込みは農業委員会へ